

山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校

# 地域支援だより

令和3年10月発行  
第28号

令和3年度 第1回

## 峡南地域発達障害児連携支援研修会

～ ご参加ありがとうございました ～

8月25日に開催させていただきました令和3年度第1回峡南地域発達障害児連携支援研修会につきましては、お忙しい中たくさんのご参加をいただきありがとうございました。

今回は「途切れのない支援を目指して～発達障害児を支えるネットワークづくり」をテーマに、公認心理士の中嶋先生を講師にお迎えし、発達障害をもつお子さんのライフステージに応じた、本人及びその家族への支援と課題について、大変丁寧なご講義をいただきました。発達障害に限らず、特別なニーズをもつ方々への支援にあたる私たちは、地域の人的資源への情報アンテナを高くするとともに、医療・福祉・教育・就労の各関係機関が、それぞれの役割を理解して相互補完的に連携することが重要なのだと改めて確認することができました。

今回は、感染症予防の観点から急遽オンラインでの開催となりましたが、事前にいただいたご質問やアンケートの結果等から、みなさんそれぞれに関係機関との連携に苦慮しながらも、様々な工夫や取組をされているのだと知ることができました。今後も本研修会を通して、発達障害児への支援にかかわる情報の共有を行うとともに、峡南地域の発達障害児を支えるネットワークづくりを目指していきたいと考えますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【 次回研修会の予定 】

日 時： 令和3年12月15日（水）午後

テ ー マ： 「 途切れのない支援を目指して

～発達障害児者を支えるネットワークづくりの実際 」

研修方法： オンライン視聴

11月に入りましたらご案内をお送りいたしますので、ぜひご参加いただけますようお願いいたします。



お子さんのその苦手さ

## 「見え方」が原因ではありませんか？

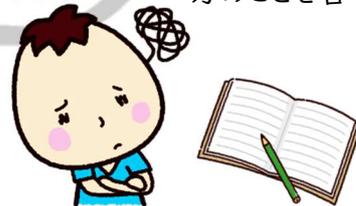
～ 視覚認知の弱さからくる「見えにくさ」～

### こんな「苦手さ」ありませんか？

- 「見なさい」という指示に従えない。
- 左右を覚えられない、間違えやすい。
- 板書をノートに写せない、写すのに時間がかかる。
- 覚えているはずの文字の書き間違いが多い。
- 人のしぐさのマネができない。
- 身体のバランスを崩しやすい、つまずきやすい。
- 文字を読み飛ばしたり、同じところを繰り返し読んだりする。
- マスの中に文字が入らない。

視力に問題のないお子さんの場合、これらの「苦手さ」は、視覚認知の力が弱いことからくる「見えにくさ」が原因かもしれません。

「視覚認知」とはどのような力のことを言うのでしょうか…



### 視覚認知とは・・・

視機能によって外界の情報を取り入れて、その情報について分析・理解する力のこと。

つまり → たとえ目では「見えて」いたとしても、それがどんな物かわからなかったり何を示しているかわからなければ、「視覚認知」に弱さがあるのかもしれない。

## 視覚認知って こんな力！！

#### 色や形を認識する

→色や形を認識して、「同じもの」「違うもの」を分別する力です。  
これが弱いと、形が似ているものは全て「なんとなく同じもの」になってしまいます。

#### 恒常性を維持する

→あるものが置かれた環境や条件が変わっても、同じものはいつも同じと認識する力です。  
これが弱いと、同じ漢字でも本に印刷されたものと、先生が黒板に書いたものでは、「違う文字」という認識になってしまいます。

#### 図（見る対象）と地（背景）を弁別する

→多くの視覚情報の中から、自分に必要な情報だけを取り出す力です。  
これが弱いと、「○○を見てみましょう」と言われても、何を見ればいいのかわからず困ってしまいます。

#### 視覚情報を記憶する

→「ワーキングメモリー」とも呼ばれ、必要な情報を30秒程度の短い時間覚えておく力です。  
これが弱いと、作業をしている最中に「あれ？」と何度も手順や方法を確認し直さなければならず、時間と労力がかかってしまいます。

### 部分と全体をイメージする

→部分的な手がかりをもとに、それらを適切に統合して全体をイメージする力です。  
これが弱いと、文脈に合わせて言葉を解釈することが難しくなります。

### 空間をつかむ

→身体の平衡を保ったり、方向や位置をつかんだりする力です。  
これが弱いと、身体のバランスを崩しやすくなり、物にぶつかることが増えてしまいます。

上記以外に、  
こんな力も重要となります。

### 眼球運動

→寄り目、一点を見つめる、視線をすばやく移動する等の眼球運動

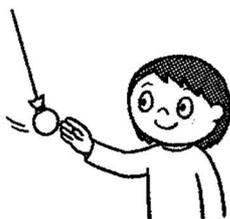
### 目と手（身体）の協応

→視覚的に捉えた情報に合わせて手や身体を動かす力



## 視覚認知を高める活動いろいろ

こちらに挙げた以外にも、「視覚認知トレーニング」または「ビジョントレーニング」と検索すると、関連する書籍やプリント教材がたくさん見つかりますので、ぜひお試しください。



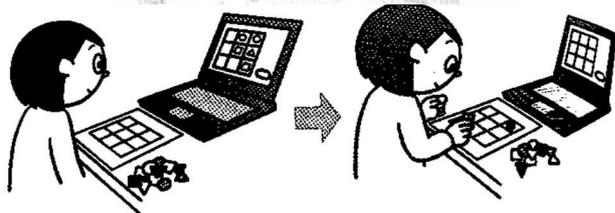
つるしたボールを目で追って、それにタッチする。  
(目と手の協応、眼球運動)

「1から順番にカードを集める」等の指示通りに、数字カードを集める。

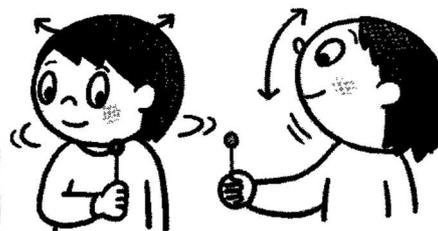
(目と手の協応、眼球運動  
恒常性の維持、図と地の弁別)



矢印の方向に腕を動かす。  
見本の人と同じポーズをとる。  
(形の認識、恒常性の維持  
空間把握、目と身体の協応)



マスの中の図形・記号とその位置を覚えて、手元のマスに並べたり、書き込んだりする。  
(形の認識、視覚情報の記憶、空間把握  
目と手の協応)



対象物に視線を向けたまま顔を動かす。  
(空間把握、目と身体の協応)

出典：発達障害のある子どもの視覚認知トレーニング

本多和子 著

山梨県立わかば支援学校 ふじかわ分校

〒400-0601 南巨摩郡富士川町鯉沢5673-12

TEL: 0556-27-0067 メール: wakafujy@kai.ed.jp

地域支援担当: 豊嶋千鶴 佐野早百合 佐野道也

